



### <2月の辞>

先週の土・日曜日に2012年の大学入試センター試験がスタートし、いよいよまた本番入試の季節がやって参りました。厳しい寒さの続く日々ですが、特に受験生の方々はくれぐれも健康に注意して頂きたいと思ひます。

塾内では「毎日演習講座」受講生が連日、点数報告や質問をしに来たり、自習のために来る個別指導のブースにもったりでごった返している状態です。

自分自身で演習プリントを解けば分かると思ひますが、点数を落とす問題のほとんどは既習項目ばかりのはずで、どんなに難易度の高い高校でも実は習った事を正確に思い出せば実は合格出来ます。(大学入試でもほとんどの場合には当てはまります)「勉強なんか、やったら出来るやろ!」と言うのは一面では真理なのですが、どれくらい出来るのかは本人次第。‘やる気’や‘集中力’など、複合的な要素が多すぎて「こうすれば確実に伸びる!」という夢のような学習法はまだこの世には存在していません。

ただ言える事は「学習姿勢」が出来ている子は必ず結果を出せる、と言う事。別に特殊な能力は要りません。授業時に先生の言う事にしっかり意識を集中出来て、言われた課題を自力でこなせる能力さえあれば現行の教育制度の中では絶対困る事はありません。その目安が学校の定期テスト75点、通知簿に換算するとおおよそ「4」だと言う事なのです。

私が「ゆとり教育」に反対するのは、こういった学習の土台となる基礎的知識や基礎的な学習姿勢などを軽視する風潮があるからです。努力はそれに見合った報酬を必ず用意してくれているものですが、そこで言う努力とは一部の「生まれつきの天才児」のためのものでは決してない、すべての人々の手の届く範囲内にあるものです。そしてその努力の核心は「見た事もない難問にチャレンジする」事ではなく、これまでやった問題を如何に完璧に速く、正確に思い出すか、と言う事に尽きます。

私が開塾当初から「中野ゼミ方式」と呼んでいる学習法は①やった問題を必ず反復する②繰り返し満点が取れるまでやり続ける、というたったそれだけの事です。当時は新米塾経営者として、ベテラン塾講師の前でその学習法を公開した事がありますが、参加していた先生方は誰もその意味を理解されてはいませんでした。面と向かって「そんな事ぐらいでは成績は伸びないでしょう」と言われた事もあります。その後、我が塾で京大や神戸大の合格者が出、高校入試で同志社や嵯峨野の合格者が出た事を当時の方々はどう受け止められるのでしょうか。

授業内の講義を集中して聴くこと—そのポイントは今言った先生の話の内容を反芻出来ることです。問題を解く時にも同じ集中力を以って取り組むこと—そのポイントはやった問題ならば満点が取れるはずだと言う事です。そして、それを宿題で自分の頭に定着させること—そのポイントは思い出すまでの時間を如何に短縮できるかです。本当に覚え込んだものは思い出すまでもなく、答えが分かります。(自分の名前を「何やったっけ?」と思ひ出す人はいません。歴史の年代の暗記も単語の綴りの暗記も同じです。思ひ出そうとすると言う事はまだ覚え切れていないのです)基礎学習ほど奥が深い、それを支えるのが学習姿勢だというお話です。

今後とも宜しくお願いします。

中野ゼミナール代表; 中野 貴之

## — 来月の予定 —

- 1月21日(土) 第3回 英検
- 21・22日(土・日) 定期テスト対策 (中学3年生; 公立高校受験生対象)
- 22日(日) 教育講演会
- 2月1日(水) 新中学1年生準備講座スタート (小学6年生)
- 私立大学一般入試スタート
- 6日(月) ~ 10日(金) 全国模試 (小3 ~ 中2)
- 10日(金) 私立高校入試スタート
- 11日(土) **通常授業有**
- 14日(火) 公立高校適性検査
- 15日(水) 公立高校推薦入試・特色選抜
- 20日(月) ~ 第3回 保護者面談会 ※各中学の日程により土・日には定期テスト対策有



〒601-8211

京都市南区久世高田町257-139 コニシビル1F

中野ゼミナール TEL. 075-204-1446

京都LETS TEL. 075-933-7106

URL <http://nakano-semi.com>

E-mail [info@nakano-semi.com](mailto:info@nakano-semi.com)

受付時間 14時~20時